

令和7年度事業報告

(自：令和7年4月1日 至：令和8年3月31日)

公益財団法人大阪腎臓バンク

概 況

1. 理事会及び評議員会の開催状況

- (1) 令和7年5月14日(水) (理事会)
令和6年度事業報告(案)及び決算(案)、原案通り承認された。
- (2) 令和7年5月30日(金) (定時評議員会)
令和6年度決算(案)を原案どおり承認した。
- (3) 令和8年3月4日(水) (理事会)
令和8年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について原案どおり承認された。

2. 基本財産の状況

令和7年度末(令和8年3月31日) 基本財産 60,000,000円

事業報告

1. 腎不全実態調査助成事業 (60万円)

大阪透析研究会、腎移植施設連絡会及び近畿献腎移植施設会議症例検討会に各20万円の助成を行った。

2. 若手研究者に対する研究助成 (500万円)

令和7年度の研究助成事業も、大学・病院医師・コメディカルといった様々な所属や移植・透析・CKDといった様々な医療分野からの申請を一律に審査するのではなく、様々な分野の研究テーマに幅広くチャンスを与えるため、施設・資格、医療分野ごとに枠を設け、その各々の枠の中で審査を行うこととした。その結果、22件の申請に対して基礎分野は8件、臨床分野は7件、コメディカル部門は2件、合計17件に対して助成を行った。

1	大黒 恵理子 (大阪医科薬科大学 生理学教室 講師) 新規に同定されたウロモジュリン類似遺伝子の機能解析による腎臓病メカニズムの解明 基礎 助成額 30万円 (OKF25-0001)
2	宮岡 大知 (大阪公立大学大学院医学研究科 ゲノム免疫学 助教) 末期腎不全患者に特徴的な腸内細菌を標的とした新規ファージ由来特異的溶菌酵素による治療効果の検討 基礎 助成額 50万円 (OKF25-0002)
3	杉澤 良一 (近畿大学 生化学教室 助教) 独自に開発したマウス尿路結石・障害モデルを用いた尿管障害・炎症機構の解析 基礎 助成額 10万円 (OKF25-0003)
4	仲谷 慎也 (大阪公立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 講師) 維持血液透析患者におけるダメージ関連分子パターン (Calprotectin) とアウトカムの検討 臨床 助成額 20万円 (OKF25-0004)
5	土井 洋平 (大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 特任助教) 尿路感染症高リスク患者に対するSGLT2阻害薬の安全性の検討 臨床 助成額 10万円 (OKF25-0005)

6	今井 淳裕 (大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 医員) ネフローゼ症候群発症早期におけるポドサイト障害メカニズムの解明 基礎 助成額 60 万円 (OKF25-0006)
7	前之園 良一 (大阪医科薬科大学 泌尿生殖・発達医学講座 泌尿器科学教室 助教) 腎移植における三次リンパ様構造・濾胞ヘルパーT 細胞と拒絶反応への関連とメカニズムの解明 基礎 助成額 50 万円 (OKF25-0007)
8	松井 翔 (大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 医員) メガリン-リソソーム軸に着目した、AKI to CKD transition の病態解明 基礎 助成額 10 万円 (OKF25-0009)
9	南 聡 (大阪大学大学院医学系研究科 生化学・分子生物学講座 遺伝学教室 特任助教) 老化細胞を標的とした糖尿病関連腎臓病の病態解明と治療応用 基礎 助成額 100 万円 (OKF25-0010)
10	山崎 智洋 (大阪公立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学 前期研究医) 人工知能(Artificial Intelligence;AI)を用いた血液透析患者の透析後カリウム濃度の予測 臨床 助成額 20 万円 (OKF25-0011)
11	松田 潤 (大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 特任助教) 巣状分節性糸球体硬化症の発症メカニズム解明 基礎 助成額 30 万円 (OKF25-0013)
12	中西 理沙 (大阪公立大学医学部附属病院 医療機器部 臨床工学技士) 人工知能(Artificial Intelligence:AI)を用いた内シャント血管狭窄形態のタイピング コメ 助成額 30 万円 (OKF25-0014)
13	古谷 真彦 (社会医療法人愛仁会 井上病院 腎臓内科 医員) 維持血液透析患者における味覚障害と透析間体重増加および亜鉛との関連 臨床 助成額 10 万円 (OKF25-0015)
14	射場 治郎 (大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 助教) 「おおよそ不可逆的な中枢神経障害」を呈した患者家族への「移植医療に関する情報提供」と多職種チーム連携に関する研究 臨床 助成額 10 万円 (OKF25-0016)
15	中野 剛佑 (大阪急性期・総合医療センター 泌尿器科 医長) 末梢血中 Effector T 細胞 / 制御性 T 細胞 比率による腎細胞癌に対する免疫療法の治療効果予測 臨床 助成額 10 万円 (OKF25-0018)
16	松井 統哉 (大阪公立大学医学部附属病院 薬剤部 係員) パンコマイシン(VCM)とガバクサムピペラリン(PIPC)併用による薬剤性腎障害に及ぼすウモジュン(LMOD)合成/分泌能の変動に関する検討 コメ 助成額 20 万円 (OKF25-0019)
17	山内 壮作 (関西医科大学 小児科学講座 臨床工学技士) 小児特発性ネフローゼ症候群初発患者の腸内細菌叢における大腸菌の割合 臨床 助成額 30 万円 (OKF25-0020)

3. 優秀論文に対する褒賞(40 万円)

令和 7 年 3 月の第 102 回及び 9 月の第 103 回大阪透析研究会で発表され、優秀論文選考委員会で選ばれたものを表彰し、褒賞金を贈呈した。

(1) 第 102 回大阪透析研究会優秀論文

1	透析患者における疲労と透析条件の関連性 (社会医療法人愛仁会 井上病院 臨床工学科)
2	膿疱性乾癬症を発症した妊婦に対して GCAP を施行した一例 (大阪公立大学医学部附属病院 医療機器部)
3	当院の透析患者における血清リン濃度とたんぱく質・リン摂取量との関係 (社会医療法人愛仁会 井上病院)

4	当院のVA管理～理学所見に対する意識向上の取り組み～ (社会医療法人垣谷会 明治橋病院)
5	透析室における介護相談の実施と高齢透析患者への支援 (医療法人なごみ会 岸辺くすのき透析クリニック)

(2) 第103回大阪透析研究会優秀論文

1	透析患者における栄養指標と食事に対する自己認識のギャップ (医療法人なごみ会 大正くすのきクリニック)
2	透析施設における塩素ガス発生事故の防止策の一案 (医療法人百賀時の会 富田林ときのクリニック、羽曳野ときのクリニック)
3	透析治療条件が与える下肢表面温度への影響 (社会医療法人愛仁会 井上診療所 臨床工学科 同 内科、井上病院 臨床工学科)
4	血液透析患者における内臓作製術前後の日常生活動作の困難感の変化と作業療法士による介入の可能性 (社会医療法人愛仁会 井上病院、愛仁会リハビリテーション病院)

4. 教育研修助成事業(3万円)

関西医科大学総合医療センターに対し、国際臓器提供学会の参加費用 35,580円を助成した。

5. 学会等共催事業 (485万円)

腎・尿路疾患の予防と治療に関する学術研究の推進に寄与するため、学会等共催審査委員会で承認された学会及び研究会の共催事業を実施した。

(1) 学 会

1	第70回日本透析医学会学術集会・総会 主宰：猪阪 善隆 (大阪大学大学院) 開催：令和7年6月27～29日 於：大阪国際会議場
2	第36回日本サイコネフロロジー学会学術集会・総会 主宰：藤田 譲 (医療法人仁真会 白鷺病院) 開催：令和7年7月26・27日 於：大阪国際会議場
3	第103回大阪透析研究会 主宰：鈴木 朗 (独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院) 開催：令和7年9月14日 於：大阪国際会議場
4	日本性機能学会 第35回学術総会 第35回日本性機能学会中部総会 主宰：野々村 祝夫 (大阪大学大学院) 開催：令和7年9月19～21日 於：なんばスカイオコンベンションホール
5	第43回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会 主宰：上川 禎則 (大阪市立総合医療センター) 開催：令和8年2月6・7日 於：大阪国際会議場
6	第104回大阪透析研究会 主宰：今田 崇裕 (関西医科大学) 開催：令和8年3月1日 於：大阪国際会議場

(2) 研究会

1	大阪腹膜透析研究会	会長	林 晃正 (大阪急性期・総合医療センター)
2	腎疾患フロンティア研究会	代表世話人	角田 洋一 (大阪大学大学院)
3	慢性腎臓病(CKD)アウトカム研究会	代表幹事	倉賀野 隆裕 (兵庫医科大学)

6. 普及啓発事業 (289 万円)

(1) キャンペーン活動及び啓発資料作成・配布

10 月 19 日開催の「第 52 回堺まつり」にて街頭キャンペーンを実施、また、10 月 25 日開催の「第 51 回すみよし区民まつり」にブースを出展し街頭キャンペーンを実施した。

(2) 患者団体活動助成

患者団体の活動に対し助成を行った。

1. NPO 法人 大阪腎臓病患者協議会 (大腎協)
2. NPO 法人 日本移植者協議会 (日移協)
3. 大阪移植の会

(3) 勉強会の開催及び機関誌発行等

大阪府における臓器移植を推進するため、腎臓バンク主催の研修会を開催するとともに大阪府主催の大阪府院内移植コーディネーター会議や研修会等を支援した。

また、OKF ニュース NO.67 及び 68 号を発行し賛助会員等に配布するとともにホームページを更新した。

7. 組織適合検査事業 (561 万円)

(1) 検査体制の整備に努めるとともに、検査事業の向上・改善を図るため、日本臓器移植ネットワーク、検査機関、移植施設と意見・情報交換を行った。

(2) 献腎移植希望登録を円滑に行うため、組織適合検査 (HLA 検査、クロスマッチ検査) を当財団の費用負担 (一部、府補助金及び患者負担あり) により、大阪急性期・総合医療センターで実施した。

- ・ HLA 検査 102 件 (うち、患者負担徴収分 98 件)
- ・ 抗体クロスマッチ検査 0 件

8. 大阪府臓器移植コーディネーター事業 (785 万円)

(1) 日常活動として、三次救命救急センター、公的病院、民間病院の 22 医療施設を延べ 106 回訪問し、移植推進のための情報交換や普及啓発資料等配布した。臓器提供可能医療機関に対し移植医療の普及啓発を図るため、院内移植コーディネーター設置支援や臓器の提供に関する研修会の開催など提供体制の強化に努めた。また、大阪府、日本臓器移植ネットワークとの連絡調整業務を行った。

(2) ドナー発生時は日本臓器移植ネットワークの指示により腎臓提供を承諾する通報から腎移植に至るまで、腎提供施設・移植施設との連絡調整、組織型の適合した移植希望登録者への連絡、検体・腎臓の搬送、ドナー遺族への対応を行った。

(3) 令和 7 年度における、大阪府内でのドナー情報は 26 件あり、提供に結びついたのは 15 件であった。

<令和7年度 献腎移植実績> 提供：府内 13件 25腎、 府外 5件 5腎
 移植：府内 25腎、 府外 5腎 計30腎

年 月 日	提供病院	移植病院	備考
7年 5月 18日	京都第二赤十字病院	大阪大学医学部附属病院	脳死
6月 21日	近畿大学病院	大阪公立大学医学部附属病院 奈良県立医科大学附属病院	脳死
6月 30日	(大阪府)	(大阪府) (大阪府)	心停止
7月 10日	りんくう総合医療センター	大阪急性期・総合医療センター 大阪公立大学医学部附属病院	脳死
7月 18日	大阪医療センター	日本赤十字社愛知医療センター名 古屋第二病院 大阪大学医学部附属病院	脳死
7月 28日	(大阪府)	(大阪府) (大阪府)	心停止
11月 1日	(大阪府内)	大阪急性期・総合医療センター 関西医科大学附属病院	脳死
11月 9日	大阪急性期・総合医療センター	大阪大学医学部附属病院 大阪公立大学医学部附属病院	脳死
11月 16日	(神奈川県内)	大阪大学医学部附属病院	脳死
11月 21日	(東北地方)	大阪大学医学部附属病院	脳死
12月 8日	(大阪府)	(大阪府) (大阪府)	心停止
8年 1月 10日	大阪医科薬科大学病院	大阪医科薬科大学病院 和歌山県立医科大学附属病院	脳死
1月 23日	JCHO 中京病院	大阪大学医学部附属病院	脳死
2月 2日	近畿大学病院	大阪市長総合医療センター 神戸大学医学部附属病院	脳死
3月 3日	大阪大学医学部附属病院	近畿大学病院	脳死
3月 7日	(九州地方)	大阪大学医学部附属病院	脳死
3月 7日	大阪医療センター	大阪医科薬科大学病院 関西医科大学附属病院	脳死
3月 21日	(大阪府内)	長崎大学病院 関西医科大学附属病院	脳死

9. 献腎移植推進事業 (165万円)

10施設から20件の有効な情報提供があり、うち9施設の情報に基づき13件の献腎移植が行われた。

	施設名	院内Co届出	情報提供	献腎移植
1	大阪大学医学部附属病院	有	5件	2件
2	大阪急性期・総合医療センター	〃	1件	1件
3	関西医科大学総合医療センター	〃	2件	0件
4	大阪公立大学医学部附属病院	〃	2件	1件
5	大阪市長総合医療センター	〃	1件	1件
6	大阪府済生会千里病院	〃	1件	1件
7	近畿大学病院	〃	2件	2件
8	大阪医科薬科大学病院	〃	1件	1件
9	大阪医療センター	〃	4件	3件
10	りんくう総合医療センター	〃	1件	1件
	計10施設		20件	13件